～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
Okinawa Association of Social Workers in Health Services

MSW ニュース　4 月号(No.106)

発　行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会　広報部
編　集：小橋川　聡（牧港中央病院）
事務局：沖縄県総合福祉センター　西棟 2 階　小規模団体室
〒903-8603　那覇市首里石嶺 4 丁目 373-1
TEL；準備中　FAX；098-893-1221
E メール；jim.msw.oaswhs@gmail.com

今年度より郵送は終了しています

目　次

・研修報告・・p 2～3
・各部会からのお知らせ・・p 3～4
・理事会議事録・・p 4～7

＜ 休 載 ＞
・入退院支援連携デザイン事業報告
・自主勉強会報告
・新入会員紹介
・トピックス（タイムス「コラム」、新報「福祉の窓」）
・はいさいワーク

研 修 報 告

****

沖縄県入退院支援連携デザイン事業＜専門研修＞
ヴァルネラビリティへの入退院支援のあり方

北中城若松病院　医療福祉相談課　渡嘉敷あさひ

****

令和 3 年 2 月 24 日、入退院支援連携デザイン事業の研修に ZOOM にて参加しました。
講義はソーシャルワーカーや在宅介護支援センター相談員などを経て、現在は大学教員として活動している玉木千賀子先生による[ヴァルネラビリティへの入退院支援のあり方]についてです。
クライエントやその家族の生きづらさを軽減するために私たち支援者はどのようにすればいいのかという視点で講義をして頂きました。はじめにヴァルネラビリティとは何なのかを説明し、次に感情や事象、語彙の表現の未達成が生活に与える影響についてわかりやすく図で説明していただき、最後に研修参加者同士でグループになり、それぞれの体験の共有を行いました。

私が研修を通して学んだことは、自分の考えを表現することができないからと言って、本人の意見を聞かずに今後の方向性を決定すべきではないということです。
表現することが苦手だからこそ、安心して表現することができる環境づくりや、なぜ表現することができないのかを考える必要があると学びました。

私は現在、認知症治療病棟を担当していますが、ほとんどの方がうまく自分の意向を伝えることが苦手です。患者さまの状態や家族の意向に沿って今後の生活場所を考えることが多いのですが、今回この講義を受けて、認知症がある、なしにかかわらず、常に患者さまの気持ちや生活背景に寄り添っていくべきだと思いました。

MSW として入職して 1 年未満と経験年数は少ないですが、今後も患者さまや家族がいかに話しやすいか、どのようにしたら生活のしづらさを改善できるのかを意識して考えながら一人一人に携わっていこうと思いました。

****

沖縄県入退院支援連携デザイン事業　研修報告

沖縄協同病院　地域連携課　稲福北斗

****

今回の研修を通し、ヴァルネラビリティを有する方への支援のあり方について学ばせていただき大変貴重な経験となりました。前半の講義では、まずヴァルネラビリティとは何かを分かりやすく解説していただき、最後には求められる支援まで事例なども交えながら、楽しく学ぶことができました。その中でも私が重要だと感じたのは、「チームアプローチの重要性（多職種連携）」と「多角的な視点を持つこと」ということです。

実際私が勤務している急性期の病院では、患者様と関わる期間が短期間のため、限られた機会の中でアセスメントし迅速に対応していくことを求められていると実感しております。特にヴァルネラビリティを有する方の方は一人では限界がありますが、多職種が連携しチームアプローチができていれば効率よく支援できると思います。それから、今回の講義の中で学んだようにヴァルネラビリティを有する方は、その問題の背景には複雑な社会背景があると改めて気づき、多角的な視点を持ち様々なアプローチすることが重要だと思いました。

また、後半のグループディスカッションでは MSW だけではなく、地域包括支援センターの方など他職種の方も参加しており、普段あまり聞くことができない貴重な話聞かせていただきました。多少支援の内容や量は違っていても、基本的に向き合う姿勢や課題には共通する点も多いと実感させられました。

最後になりますが、今回の研修を通して学ばせていただいたことを普段の業務でも生かしていけるように日々精進していこうと思います。またこのような貴重な研修会を開催していただいた、講師の玉木先生をはじめ運営の皆様、参加者の皆様、誠にありがとうございました。

****

各部会からのお知らせ

****

研修部たより

＜活動報告および活動計画＞

■2020 年度　沖縄県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修 A（オンライン）

無事開催終了しました。**参加者アンケート結果はこちら**からご覧ください。

ご参照ください。

次年度も全課程オンラインで開催予定です。

■次年度は下記もオンライン（ZOOM）での開催を計画しています。

・中堅者研修

・自主勉強会 めだかの学校

・自主勉強会 めだかのホームルーム

✿その他のお知らせ　1

九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリ from 九州医療ソーシャルワーカー協議会」更新中！

✿その他のお知らせ 2

■MSW 協会研修部メンバー募集！

「こんな内容を学んでみたい」「こんな方法だと楽しく学べそう」などのアイディアをお持ちの方、「研修の裏側を知りたい」「オンライン研修に慣れたい」という方、一緒に学ぶ機会を創ってみませんか？

お気軽に、最寄りの MSW 協会理事・研修部メンバーまでご連絡ください。

発行 2021 年 3 月 19 日

研修部　大久保

【 広報部 】

新企画検討中　アイデアも随時募集中!!

巻末の**「協会公式 LINE 加入のご案内」**をご覧ください。

３月理事会議事録

****

２０２０年度　沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2021 年 03 月 15 日（月）19：00～20：30

場所：@沖縄県総合福祉センター＆Zoom

****

【出席者】新垣会長、秦副会長（司会）、安慶名副会長、樋口、井上、大久保、

小橋川（連絡）、長（書記）

【Zoom 出席】奥平、當銘副会長

【委任者】石郷岡、高江洲、伊禮、山城、香村

＜各部報告・協議事項＞

〔研修部〕

□初任者研修会開催報告を受けました。

・２回目の受講生は１２名でした。事後アンケート回答の供覧しました。

・全２回受講した 11 名に、新書式での修了証を発行します。

□研修部会の報告を受けました。

・次年度の計画から初任研半日×7 回　A、B２つのコースに分けることを検討します。

・中堅者研修や自主勉強会もオンラインで実施できるように計画していきます。

〔広報部〕

□　MSW ニュース４月号編集担当；小橋川さん（牧港中央病院）

□　協会公式 LINE 加入者数：125 名（3/12 現在、会員 153 名）

□　協会ホームページアクセス数　２月；1,569 件（1 月；1,625 件）

アクセス割合　PC；46%　スマートフォン；54%

□　広報部会の報告を受けました。

・ニュース編集 G、ホームページ更新・LINE 発信 G に分かれて活動できるように役割分担

それぞれメンバーを拡充できるようそれぞれの部員がリクルートをおこなっていきます。

・各病院の地域連携、相談室紹介のコーナー新設予定

・部長、副部長、担当理事の業務分掌を仕分け中、次年度で実施しながら形にしていきます。

〔社会活動部〕

□SW 学会の報告を受けました。

・午前参加　87 名　午後参加　82 名　初のオンライン開催で大きなトラブルなく終了しました。

・2021 年度；幹事社会福祉士会　　2022 年度；幹事 MSW 協会

〔事務局〕

□入退会報告

入　会　届　：　0　人

所属先変更：　0　人

退　会　届　：　1　人

□CBT　センター：「低所得者・経済的弱者層の人々のための心理支援ワークショップ」の広報依頼があり承認しました。

開催日：2021 年 3 月 28 日オンライン開催予定

受講費：10000 円

□アストラゼネカ株式会社：「心不全重症化予防を考える会」の広報依頼があり承認しました。

開催日：2021 年 3 月 30 日オンライン開催予定

受講費：記載なし。

□なごみ会（沖縄県医師会）：書面決済に関する同意書として、以下の議題を確認し承認しました。

・議題１：役員案

・議題２：令和３年度県民健康フェアの中止

・議題３：令和２年度県民健康フェア中止に伴う会場利用料の分担金（7,194 円）

・議題４：うまんちゅ健康フェスタ開催におけるなごみ会名義後援

＜その他　報告協議事項＞

□沖縄タイムス：2021 年度沖縄タイムスコラム「暮らし相談室」の執筆依頼を受け承認しました。

・理事以外の中堅会員へ依頼することを確認しました。タイムスコラムは 2021 年度までの予定。

□理事会：　4 団体に確認して、MSW ニュースへの「福祉の窓」今後継続の方針か含め運用方針確認する。

□理事会：心不全地域連携パスの報告を受けました。

□理事会：2 月 12 日に行われた「ちゃーがんじゅう課との取り組み報告会」の報告を受けました。

・今回の取り組みを、九州地区で学会発表する方針で準備していきます。

□理事会：沖縄県入退院支援連携デザイン事業について報告を受けました。

・今年度事業報告（案）・決算報告（案）・次年度（令和 3）年度事業計画（案）について協議しました。

□理事会：協会事務員の業務内容について協議しました。

□理事会：研修運営について

・事務運用は事務員へ移行していく方針で確認。

・Zoom 運営のホスト、サブホストへ事務補助費を支払うことを確認しました。

・理事や中堅者で関心のある会員が順番にオンライン担当ができるよう計画していきます。

□日本医療社会福祉協会・社会貢献事業部：令和　3　年度ハンセン病対策事業(社会復帰者等支援事業委託分)について報告を受けました。

□理事会：九州協議会　会長会の報告を受けました。

・宮崎大会は 11～12 月にオンライン開催を予定（中堅者研修は別で行います）

□理事会：令和 3 年度総会の日程について協議し、以下の日程で行うことを確認しました。

日　程：2021 年 6 月 21 日（月）19：00～19：30

＜継続議題＞

・県委託事業への今後の取り組み

・理事及び部長職の職務規程の整理

・研修の体系化（初任者、入退院デザイン、めだかの学校など）

・会員名簿の管理方法の整備（会費未払いの会員の取り扱い：学生会員の設定を検討していく）

※次回理事会　2021 年 04 月 19 日（月）19：00～　@沖縄県総合福祉センター

司会：樋口　書記：石郷岡　連絡：高江洲

議事録署名人　　新垣　哲治

☆ 編 集 後 記 ☆

新年度が始まりましたが、皆様の職場でもたくさんの仲間が入職しましたか？
新入職の方のフレッシュさに良い刺激を貰っていますか？
４月は年度が替わり気持ちを切り替えやすい時期です。
前向きな気持ちで過ごせるように、目標を立て、良いスタートが切れるようにしたいと思います。

MSW 協会　公式 LINE　加入のご案内

https://www.msw-oaswhs.jp/

～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
Okinawa Association of Social Workers in Health Services